

# 長浜曳山まつり

4月13日～16日で行われた長浜曳山まつり。今年、13年ぶりに曳山が全基出場とあって、例年以上に話題となりました。全基が出場する15日当日は、あいにくの雨となりましたが、それでもたくさんの人が訪れ、大いに盛り上がりしました。



15日の夜にはお旅所に曳山全13基が勢揃い。雨模様でも、たくさんの人が見に来た。傘の華が咲きました。



## 曳山まつりを事前学習

今年、旧長浜市内だけでなく、旧浅井・びわ町内の小学校でも開催された曳山まつりの事前学習会。七尾小学校でも、3～6年生を対象に開かれ、子どもたちはボランティアの先生から、祭りの由来や曳山の説明を聞きました。同じ年頃の子たちが演じる歌舞伎に一番興味があったようです。



## 米国オールド中学生が訪問

米国ワシントン州ベルビュー市から、オールド中学校の生徒たちがびわを訪問しました。びわ中とオールド中は、平成3年から交流が始まり、毎年、4月に招待し、9月には訪問しています。今回、生徒は、びわ中生宅にホームステイし、竹生島見学や幼稚園でのもちつきなどを楽しみました。



## 物語館がリニューアル

博覧会の物語館（曳山博物館）の展示がリニューアルされました。一豊と千代が共に歩んだ足跡を湖北の大鳥瞰図に示したほか、「杵のまな板」「鏡箱のへそくり」など、二人の逸話を表したイラストや、湖北の山城の解説パネルなどを新たに展示しています。



## 交通安全に気をつけて

長浜小学校では、自分の身を守るため、正しい道路や踏切の渡り方を学んでもらおうと、1・2年生を対象に交通安全教室が行われました。一旦止まって右左右の確認など、基本的なことをビデオで学んだ後、実際にできるか、仮の信号機や踏切で練習しました。ふだんもしっかり守ってね。



## 新しいスポ少が発足

旧長浜・浅井・びわのスポ少が一つになり、長浜市スポーツ少年団として発足しました。この日は結団式が行われ、レクリエーションを通して子どもたちが交流したほか、指導者・保護者の合同研修会では、子どもたちのスポーツ環境のあり方について意見交換を行いました。



## うまかった市始まる

4月から毎月22日は夫婦（ふうふう）の日として、曳山博物館正面玄関前で「うまかった市」を開催。木の芽田楽や焼き鯖そうめんなど、季節に応じた湖北の名産品が販売されます。「うまかった」とは、一豊が名馬を買ったという逸話と、「うまかった」と言っていただけの意をこめて名づけられました。

壽山



夕渡りや子ども歌舞伎など、華やかな衣装を着た子ども役者が、見事な演技で観客を楽しませていました。

## 子ども役者の名演技



狸丸

鳳凰山



高砂山



雨に濡れながら、囃子を吹く子どもたち。歌舞伎が目立ちますが、このような囃子の音があるからこそ、まつりが盛り上がりします。

15日の雨の中でも、山曳きや囃子など、たくさんの人が雨具を着てがんばっていました。



滋賀大学の学生や自衛隊、連合滋賀など、たくさんの人が応援に駆けつけ、山を曳いていただきました。